別紙様式第９（第17条関係）

年　　月　　日

動物実験等自己点検票

国立大学法人長岡技術科学大学長　殿

　　〔実験責任者〕所属・職名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 氏名

　国立大学法人長岡技術科学大学動物実験取扱規程第17条第３項の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 承認番号 |  |
| 実験期間 | 年 月 日 ～ 年 月 日 |
| 実験場所 |  |
| 使用動物 | 動物の種類 | 性別 | 系　統 | 匹数 |
|  |  |  |  |
| 遺伝的・微生物学的特徴 |
| 動物実験の内容 | １．試料（　　　　　　　）投与　２．材料（ ）採取３. 行動の観察　　　　　　　　 ４．外科的処置（　　　　　　　　　　　　 　　）５．遺伝実験　　　　　　　　　　６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）　 |
| 動物の苦痛軽減・排除の方法 | １．麻酔（品名：　　　　　　　　量：　　　　　　　方法：　　　　　　　　　　　　）２．保定法：３．苦痛の有無の判定法： |
| 実験終了後の処置 | １.麻酔薬致死量投与（品名：　　 　　　　量：　　　 　　方法：　　　　　　　　　）２.断頭又は中枢破壊　 　 　３.治療・回復４.その他（ 　　　 　　　　　 ) |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 点検項目 | 点検結果 | 備考 |
| 1 | 実験は計画書に記載した場所のみで実施したか？ | □ Yes □ No |  |
| 2 | げっ歯類以外の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は専用の手術室で実施したか？ | □ Yes□ No□ 該当せず |  |
| 3 | げっ歯類以外の動物の大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は無菌的に実施したか？ | □ Yes □ No □ 該当せず |  |
| 4 | 侵襲性の高い大規模存命手術（開胸術、開腹術、開頭術など）は十分な知識と経験を有する者、あるいはその指導下で実施したか？ | □ Yes □ No□ 該当せず |  |
| 5 | 存命手術において、術後観察および必要に応じた術後管理（術野消毒、術後鎮痛、補液、抗生剤投与、保温など）を実施したか？ | □ Yes □ No □ 該当せず |  |
| 6 | 計画書に記載した麻酔および鎮痛処置を実施したか？ | □ Yes □ No□ 該当せず | (鎮痛、麻酔薬名) |
| 7 | 計画書に記載した安楽死法を採用したか？ | □ Yes □ No□ 該当せず | (安楽死法) |
| 8 | 苦痛度が高い実験において、人道的エンドポイントに沿った安楽死を実施したか？ | □ Yes □ No □ 該当せず |  |
| 9 | 実験目的以外の動物の傷害や疾病が発生した場合、適正な治療、措置（安楽死も含む）を実施したか？ | □ Yes □ No□ 該当せず |  |
| 10 | 動物実験に際して、動物に起因する人の傷害や疾病（アレルギーを含む）の罹患はあったか？ | □ Yes□ No | (傷害、疾病名) |

* 各項目で 「No」 をチェックした場合は、備考欄に理由を記入すること。
* 項目6,7,10で「Yes」をチェックした場合は、備考欄に具体的な名称等を記入すること。
* 項目6,7で「該当せず」 をチェックした場合は、備考欄に理由を記入すること。